

# こおろぎ

増刊号

No.147

発行日 2005年5月15日  
発行元 株式会社  
オリジン・コーポレーション  
代表取締役：杉井保之  
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1  
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187  
E-mail [origin@ck.tnc.ne.jp](mailto:origin@ck.tnc.ne.jp)  
URL <http://www.origin-co.com>

## 事故の教訓

JR福知山線で本当に悲しい事故が起きてしまいました。その対応の悪さにマスコミの非難が集まっていますが、皆さんは今回の事故をどのようにお考えでしょうか？

今回、JR西日本の職員が、事故の当日にボーリングや親睦会に参加していたことがマスコミに追求されていましたが、正直なところ、今の日本でどれだけの方が責任を問えるのだろうかというのが私の感覚です。私は経営者ですので当然会社に向かいますが、社員さんなら「必要があれば連絡がくるだろう」と考えて会に参加してしまう人がほとんどだと思うのです。

おそらく親睦会に参加した人達も、目の前に怪我をしている人がいたら、必死になって救出活動をすると思うのです。

今回の報道を見ていると、被害者の気持ちを思って追求しているかのように見えますが、親睦会に行っていた報道を聞いて気持ちのよい被害者がいるのでしょうか？ もし本当に被害者のことを考えているのなら、まだ原因が調査中の段階で、亡くなった運転士の名前や写真、過去の処分歴といった個人情報や国民に知らせることはしないと思うのです。運転士さんにもご家族があり、その報道を見る親御さんたちがどのような思いをしているかと考えると、人の不幸を利用した視聴率稼ぎに思えてなりません。

JR西日本の体質についてはいろいろと改善しなくてはならない点があると思いますが、そうした議論は専門家に任せて、「どうして事故が起こったのか？」「運転手が1分30秒の遅れを取り戻そうとしたのはなぜか？」を自分達の頭で考えてみる必要があると思います。

運転士さんが遅れを取り戻そうとしたのは、「時刻に遅れることによる罰(処分)がイヤだった」という理由もあるとは思いますが、「ダイヤを乱すと、多くの人々の足に混乱を生じさせ、迷惑をかける」ということも大きな理由だったと思われます。JRが時間を乱した運転手を処罰するのも、時間が狂うとダイヤが乱れて多くの乗客に迷惑をかけるからでしょう。

以前、台風のため私が乗っていた新幹線が新横浜の駅で立ち往生したことがあったのですが、そのときの駅の様子は本当に凄いものでした。「いつになったら走るんだ！ ハッキリしろ！」といった罵声に対応に追われる職員に容赦なく浴びせられたのです。「いつになったら走るんだ！」と言われても、相手は台風なのです。

もちろん被害を受けた皆さんのお気持ちは察して余りあるものがありますし、設備の遅れや体質の改善はしていかななくてはならない課題だと思いますが、ダイヤの乱れを起こせない理由のいくらかは、私たち乗客にもあると思うのです。

今回、私が報道を聞いていて最も恐ろしく感じたことは、自分達がこの事故の加害者であるという自覚を感じている人があまりにも少ないということです。

事故の調査委員でもない私たちが、JRについてどうこう言っ

ても仕方のないことです。それよりもこの事故を契機に、もう一度私たちの生き方を考えてみない限り、第二、第三の事故が起こるかもしれないと思うのです。

最近では幼稚園のお迎えの際に「ありがとうございました」という言葉を聞かなくなりました。「預かってもらっている」のではなく、「預けてあげている」と考える親達が増えてきたのです。確かにお金を払うと「してもらって当然」という権利意識が強くなりがちですが、あまりにも「お世話になっている」という事実が忘れられてきた気がします。

福知山線のご遺族のためにも、私たちの生き方によって二度とこうした事故を起こさない環境をつくる必要があるのではないのでしょうか？ ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

お忙しいのに、メールくださってありがとうございます。タベ、Cトレニングから帰宅したら、六歳になったばかりの娘からカーネーションをプレゼントされました。クレヨンで描いた絵に、「おかあさん、六ねんかんありがとう」の文字つきでした。

「ありがとう」としっぴり抱きしめました。

Cトレニングに参加できたのは夫の協力のおかげ。「お世話になりました」の言葉とともにプレゼントを渡しました。

今日は、たまった家事を片付けています。娘と一緒に掃除をしました。これから車に乗せて、買い物に行きます。西村さんをはじめ、杉井さんも波多野さんも鈴木さんもお忙しいのに、のんびりしたメールでごめんなさい。

一年間の勉強期間、ご指導ください。決して負け惜しみでなく、私は合格しなくてよかったと思います。やはり勉強不足でした。じっくり勉強できる時間をもらって、返ってよかったのだと思うのです。私も努力しますので、杉井さんも体に気をつけて、静岡の受講生の皆さんを見守ってください。

## 今月の活動情報

お問い合わせはオリジンまで

日程	内容	主催者・会場
6/4~5	トイレ掃除・静岡経営塾(オリジン・コーポレーション)	
6/7(月)	南アルプス建設的な生き方を学ぶ会	
6/10(金)	思春期の子ども心理	(藤枝市生涯学習センター)
6/11~12	NACL	(OVTA)
6/13(月)	「幸せになる秘訣」	(明治安田生命甲府支社)
6/13(月)	山中湖建設的な生き方を学ぶ会	(安心サービス)
6/15(水)	「素敵な子どもを育てるために」	(相良小学校)
6/15(水)	浜松建設的な生き方を学ぶ会	(株式会社京丸園)
6/16(木)	横浜建設的な生き方を学ぶ会	(野毛地区センター)
6/17(金)	「素敵な子どもを育てるために」	(浜北市文化センター)
6/18(土)	「素敵な子どもを育てるために」	(函南中学校)
6/19(日)	島田建設的な生き方を学ぶ会	(立林浩明様)
6/21(火)	「ピンチはチャンス！」	(藤枝商工会議所)
6/24(金)	沼津経営塾	(沼津市文化センター)
6/25~26	東京経営塾「マネージメント・ゲーム」	(コネクト)

杉井さんと出会って八年目に入ります。八年前とはずいぶん変わり、海外旅行に行けたり、親孝行が出来たり、また付き合ってくれる女性が出来たりと、夢が叶うことが出来、振り返ってみると、周りにいる方が本当に、自分を応援してくれて、お世話になっていること、自分自身が「こうしたい」という願いがあることが、今日のお話を聴き、あらためて実感しました。今、自分の夢に向かうためにも、夢を実現する方法を胸にきざんで生活していこうと思います。

京丸園で働いて三年が経とうとしています。朝は早く、夜も遅く、大変だと思っことが多いのですが、一番問題なのは具体的に夢を持たなくて、ただ漠然と仕事をしていることが問題であると思いました。

働く時間が長いのであれば、具体的に何時までに仕事を終わらせたいのか？ そうするためにはどのように仕事をやっていけばいいのかを考えなくてはいけないと思います。夢を実現する方法を生かして、自分一人で悩まず、周りをとりこんで夢を実現したいと思いました。